

旧水口町の時代から長年にわたって毎年8月6日に市内の小学6年生28名を広島平和記念式典に参加して語り部さんからの話を聞くなど、県内でも誇るべき平和事業が、新年度予算で計上されなかったことに、市内各団体の代表が復活を求める緊急申し入れを行いました。



甲賀市が誇るべき平和施策 広島平和記念事業復活を

緊急申し入れには、甲賀市平和委員会、戦争させない甲賀市民の会、新日本婦人の会甲賀支部の代表のほか、日本共産党甲賀市議員団、日本共産党甲賀市委員会の小西喜代次委員長、無党派で立憲民主党滋賀県連合会幹事の福井進議員、無党派の田中喜克議員も緊急申し入れに参加。「コロナ禍のもとでこの3年間中止せざるを得なかったことは理解するが、オンラインを活用するとか、さまざまな工夫をして実施継続するべき」と強く申し入れました。応じた副市長は「予算化しても実施できない時期が続いた。平和事業そのものは大事であると理解する。どういう形にすればいいのか、検討している」と回答。山岡議員は「議会に全く説明もないまま、こちらから質問したら、予算を計上しなかったことがわかったというのは執行部として説明責任を果たしていない。その主旨ならば、事業予算を復活することを前提にして、どういう形態なのか、もっと知恵を出すべき」と再度申し入れました。子どもたち自身が現地・広島に行くこと自体が大きな意義のある事業です。熱中対策など子どもたちの安全を確保しながらも、事業の主旨が生かされるようにするべきです。そもそも事業費を計上しないというのは、これまで続けてきた平和記念事業の大事さが認識されていないあらわれでもあります。引き続き、復活を求めて運動をすすめていきます。

甲賀市の新年度一般会計予算案(総額43.9億円)の詳細について、13日から17日まで5日間にわたって予算決算常任委員会が開かれ、集中審査が行われました。山岡議員は、本会議では歳入に絞って質疑しましたので、予算決算常任委員会では、歳出の項目について、具体的に問題点を示して拡充を求めました。その主な内容を紹介します。



新年度予算案 集中審査

予算決算常任委員会の審査

●甲南駅の鳩糞対策に1500万円

JR甲南駅舎の階段やホームに鳩の糞が落ちて困っていました。写真を撮って市に改善を求めていたところ、新年度予算で「糞害対策事業」1500万円が計上されました。山岡議員は、対策を講じるのはいいけれど、あまりにも高額ではないか、と指摘しました。

●JR草津線利用促進事業に1320万円

3月ダイヤ改正で始発・最終が貴生川発・止となったために非常に不便に。市は利用促進のために1320万円を予算しましたが、①JRとの連携に200万円、利便性向上のための調査費に700万円、利用促進事業補助に420万円を計上。山岡議員は、「どれだけの効果があるのか。減便で困っている人のために、柘植から貴生川まで『減便対策コミバス』を運行するとかは考えなかったのか、便利なダイヤになれば利用者は増える。減便すれば利用者は減る。減るのでさらに減便する。もっと利用促進につながるような施策が必要」。

●遠距離通学費支援に1091万1千円。

従来の遠距離(小学校は4^キ、中学校は6^キ)通学の児童に対して、バス代などを補助してきましたが、今回、登下校時に集団下校できない等の場合に公共交通機関を利用すれば、安全確保のために補助を出すことが追加されました。山岡議員は「追加されたことは喜ばしいことだが、その基準は」との問いに、「おおよそ168人が対象」というものの、その基準は示せませんでした。

●単位老人クラブへの補助：284万9千円

市内には、単位老人クラブが124団体ありますが、「単位老人クラブ」補助は、連合会に入っていないと支給されない仕組みに。山岡議員は、連合会には140万円の補助がある。連合会に入っていないだけでも支給すべき」と求めました。

もうすぐ1000号

市議会議員当選以降、毎週発行し続けている「山岡議員活動ニュース」がもうすぐ1000号になります。感想・ご意見などメッセージお寄せ下さい。

FAX0748-86-0415 又はLINE
めーる yama729@maia.eonet.ne.jp

原発いらないびわこ集会

岸田内閣が「原発回帰」方向を示すなか、東日本大震災から12年めの3月11日、膳所公園で「原発のない社会へ2023びわこ集会」が開かれ、山岡光広議員を先頭に、日本共産党甲賀市議員団揃って参加、デモ行進しました。

